

市花 “ さつき ”

(昭和47年4月1日制定)

市を中心とする付近一帯から産出される“鹿沼土”は、保水性、排水性とみ、すぐれた通気性をもっているため、さつき栽培に適しています。このような条件にめぐまれて、市花“さつき”は、昔からさかんに栽培され、いまでは市内のほとんどの家庭にさつきの姿が見られます。

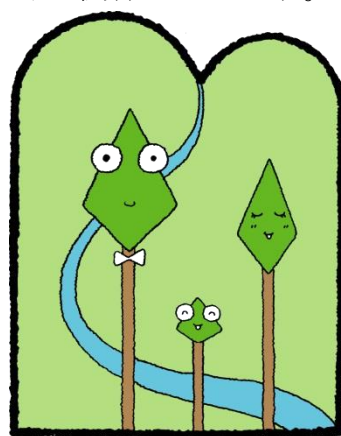


さっちゃん

市木 “ 杉 ”

(昭和55年8月1日制定)

スギ科の常緑高木で、大地にがっしりと根を張り、幹は天に向かってまっすぐに伸び、樹齡がながく、市内のいたるところで見られます。昔から神社境内に神木として植えられ、広く市民に親しまれており、木工、建具のまち鹿沼とは深い関係にあります。



杉なみくん

市果実 “ いちご ”

(平成28年7月22日制定)

“いちご”は市の代表的な農産物であり、かぬまブランドの筆頭、そしてシティプロモーションのシンボルでもあります。市のイメージ向上と認知度拡大を目指して制定されました。



鹿沼市歌 (平成19年3月31日制定)

駒井 瞭 作詞
渡辺 貞夫 作曲
鹿沼市歌選定委員会 補作詞

J=78

あまた さつき ひきみ にのの にたわ わいさ うちに やめて まめり なあは みふえ
あまた さつき ひきみ にのの にたわ わいさ うちに やめて まめり なあは みふえ
のれる なちれ がかき れるし もみゆ きなか よきしく
かいゆ せきう ひあきゅ かつう りくに ふやあ れくら あした うんな
えきふ がそん おうか いたか つかお のなり ひりさ もへき
しあと あこき わがめ せれき かかか ゆゆゆ ままま あいに たきじ たいか かきけ
くどて みはひ んばー なたと でくと あみひ しらと たいと ををか
つひな くもく るくむ ままま ちちち

* 3番は小音符を歌う